

第1回

都市コン 喫茶関西

都市計画コンサルタント協会関西地区協議会では、主に都市計画コンサルタント協会に所属する企業に対し、都市計画や他分野の専門家をゲストにまねき、テーマに沿った話題提供と座談会形式での意見交換を行い、技術の向上や他分野との連携、コミュニケーションを高めていく場となる、「都市コン喫茶関西」を開催することとなりました。

当日は、ゲストが設定するテーマを基に話題提供いただき、その後、ゲストと参加者で座談会形式の意見交換を行い、交流を深めてまいります。



第1回ゲスト



大阪大学
丸山 武志 特任教授

【テーマ】
大阪大学 COI-NEXT 事業が描く地方都市の未来

2025

6/4 (水) 18:10 開場

18:30~20:00 (話題提供 45分、座談会 45分)

場所 SeekS×pot(シークススポット)会議室
京阪天満橋駅 京阪シティーモール7階

参加人数 最大 20 人程度 ※対面のみ

参加費 2,200 円(税込) ※会員、非会員とも

CPD単位 申請中

会場アクセス



お申し込み方法

申し込み期限

2025 / 5/29(木)

都市計画コンサルタント協会ホームページまたは、
右記 → 二次元コードよりお申込みください

<https://www.toshicon.or.jp/>

都市計画コンサルタント協会 セミナー



大阪大学 COI-NEXT 事業が描く地方都市の未来

話題提供の内容

科学技術振興機構の共創の場形成プログラム(COI-NEXT)地域共創分野の採択を受け、大阪大学は令和5年度より先導的学際研究機構内に「住民と育む未来型知的インフラ創造部門(以下、FICCT)」を立ち上げました。

FICCTでは、人口減少と少子高齢化が進展し、持続可能性がホット・イシューとなっている地方都市をフィールドに研究活動を展開しています。豊かでスマートな自律協生型社会をどう実現していくべきか、そのために必要となる「住民にとって信頼感の高い、フィジカルとデジタルの接続に必要となる最先端技術」をどのように開発し実装していくべきかについて、多様な領域の若手研究者が、技術論だけでなく、そのための手法論も含めて日々議論し、実践しています。

今回の「都市コン喫茶関西」では、金融機関、シンクタンク、地方公共団体幹部、そしてスタートアップの経営といった経験を有する大学研究者が、これまでの活動を通じて得られた実践知を紐解きながら、大きな変動期を迎えている我が国の社会変化の状況と地方都市の未来について語ります。地域のコントロールタワーたる自治体の政策形成や実施の方向性、それらを取り巻くアクターなどが社会変化をどう受け止めて対応していくべきなのかなど、答えがない問いも多いテーマです。みなさんと一緒に考える機会になりますと幸いです。

ゲストプロフィール



まるやま たけし

丸山 武志

国立大学法人大阪大学 先導的学際研究機構 特任教授(常勤)

1971年長野県生まれ。

1994年さくら銀行(現 三井住友銀行)入行(~2006)。

メガバンクでは主に業績悪化企業の再生業務に従事。その後、2006年から日本総合研究所にて M&A、組織再編、事業再生、中央官庁の調査業務などに従事したほか、米原市長特命シティマネージャー(地方創生人材支援制度第1期生)、彦根市特別顧問、長崎市デジタル政策コーディネーターなど、地方公共団体の幹部も兼務。

現在は、大阪大学先導的学際研究機構で、若手卓越研究者の先端研究と実社会との橋渡しの仕組み構築を進めつつ、自身も大学発スタートアップの代表を務める。

お問合せ先

*メールでお願いします

一般社団法人 都市計画コンサルタント協会 関西地区協議会

株式会社かんこう 樋口 / Eメール higuchi@kanko.cityis.co.jp

または、一般社団法人 都市計画コンサルタント協会 事務局:中島

TEL 03-3261-6058 / Eメール info@toshicon.or.jp